

『君は痴女』

◇登場人物

・男1

・女1

・男2

部屋の中。

男1、椅子に腰を下ろしている。

女1、男1の傍で立ち、何か話しかけている。

女1 ほら、どうして欲しいの？ ちゃんと言ってみて？ あるんでし

よ？ してほしいこと。ほら……

男1 え、え、えつと……

女1 ほら、ちゃんと言わなきゃ。じゃなきゃお姉さん、イジワルしちゃ

うよ。

男1 え、なにを……

女1 ほら。どうしてほしいの？

男1 や……恥ずかしいよ……

女1 止めてもいいのよ。

男1 え、そんな……

女1 はやく！ もう、身体はこんなに正直なのに……

男1 あ、あ！ あ、すいません……

間

女1 ほら、もう、こんなに固くなってるじゃない……。

間

男1 え？

女1 え？

男1 で？

女1 え？

男1 どころが？

女1 はい？

男1 どころが固くなってるの？

女1 え？ 普通に、あの、えつと……

男1 え、ちゃんと言って。

女1 うん……本当に言う？

男1 え、逆に言わないとかって選択肢ある？

女1 ……。

二人の傍に「台本」が置いてある。

男1、台本を手に取り、女1のセリフの箇所を読む。

男1 ほら、もう、こんなに固くなってるじゃない……の後。何ていうの？

女1 え？……あなたの（誤魔化しながら）○ん、ぽ。

男1 ですよね？……え、あなたは、何になりたいんですか？
女1 ……痴女。

男1 だよね！ 痴女になりたいって自分で言ったんだよね！

女1 うん、でも！……

男1 ……なに。

女1 ……なりたいたっていうか……

男1 言ったじゃん、なりたいたって。

女1 言ったけど。

男1 じゃあやってくれませんか？

女1 でもなりたいたっていうか、なってほしいんだろ？なあって……

男1 は？ なに？ 俺が無理矢理させたみたいな？

女1 いや、無理矢理とかっていうあれじゃないけど……うん……一応、

なんかそういう……

男1 (さえぎって) いいよ、じゃあ。やめれば？

女1 ちがう！ そういうことじゃない！

男1 意味よ！ いやなんだろ！ じゃあやらんければいいやつし！

女1 いやじゃない！ なんかちよつと難しいから、

男1 (さえぎって) ならやれ！

女1 ……やるけど！

男1 意味よじゃあ文句言うな！

女1 ……(棒読み) ほら、どうしてほしいの？

男1 (さえぎって) だから！

女1 なに？

男1 え、やーよ、痴女ってどんなのかわかってるか？

女1 うん、

男1 言ってみ？

女1 ……攻める人。

男1 ……は？

女1 はい？

男1 だけ？

女1 でもそうでしょ？

男1 ……いいよもう。

女1 なんで！

男1 いいよ、もう、やめよう。そんな心構えだったらやる意味ない。

間

男1 別れたければいいよ別に。

女1 は？ なにそれ。

男1 いやだろ？ こんなって痴女やれとかっていうやつ。

女1 いやじゃないし別に。それになんで別れるとかっていう話になるわけ？

男1 じゃあなんでやらんば？ いやじゃなかったらやるだろ、普通。

女1 やりたいけど、できない。

男1 やる気の問題だろ。

女1 ある。やる気。

男1 じゃあなんでできん！

女1 やろうとはしてるってば！ なんでできんかはわからんけど。

男1 でもできないってことは、じゃああれだろ？ 生理的に無理ってこ

とだろ？ したら別れたほうがいいやつし。

女1 だからなんでそうなるわけ？

男1 そのほうがいいだろ。

女1 なに？ 別れたいわけ？

男1 は？ 俺がな？

女1 そうでしょ？

男1 意味よ、俺に責任押し付けるば？

女1 は？ なんの責任よ！

男1 俺から言い出したみたいなき感じに持って行こうとしてるやつし今。

女1 でもそうでしょ？

男1 え、やー死なすよ！ やーが別れたいんだろって話だろ！

女1 そんなわけないじゃん。

男1 じゃあ痴女なれるだろ！

女1 になりたいよ？ になりたいけど、まだやりはじめたばっかだし……

男1 じゃあやーが——

女1 (さえぎって) 他のパターンのやらして？ この部分はまだちよつと

あれ……

男1 どこよ。

女1 あの、えつと…… (台本をペラペラとめくり) あ、あのこの、警察

官？ 刑事？ のやつ。

男1 じゃあはい……

女1 待ってよ。

女1、台本を確認している。

女1 はい (台本から目を離し) ……わかっているのよ、あなたがやったってことは……ねえ、どうやったたら話してくれるのかしら。ほらじゃあ、こんなことしちやう。

男1 あ、刑事さん、

女1 どう？ 話したくなってきたでしょ？ ほら！

男1 あ、あ！

女1 ほら、どうなの？ 告白しちやいなさい？

男1 あ、ダメ！

女1 ダメ？ 何がダメなの？

男1 お、俺……

女1 ダメよ！ 告白するまでは我慢しなさい。

男1 は、はい！

女1 じゃあこうしましよ？ 全部話してくれたら、もーつと気持ち良いことしてあげる。

男1 気持ち良いこと？

女1 そうよ？ どんなことか知りたい？

男1 は、はい……

女1 それはね…… (戻って) はあやっぱ無理！

男1 なんですよ！

間

女1 っつか言っついていい？

男1 なに？

女1 痴女ってこんななの？

男1 は？

女1 っつか言っついていいかなに？ あんたは、こういうのがいいわけ？ これで興奮するの？

男1 したら悪いば？

女1 いや別にいいんだけどさ。

男1 じゃあいいやつし！ 普通にやれ！

女1 そういうとこよ！

男1 なにが！

女1 私がなんで痴女になりたいって言ったかわかる？

男1 ……知らんよ。

女1 あんたが興奮したいのはいいいよ？ 別に。でも私はできないわけ？ 興奮するの。あんたがいい感じになるのを私は手伝うみたいない感じさ

今！ 奉仕するみたいない！

男1 は、意味よ、じゃあ最初から痴女になりたいとか言わんければいいやつし！

女1 違うし！ 痴女はなりたいたいよ！ でも、この痴女じゃない！ っつか言っついていいわけじゃないよ！ あんた痴女ってなんだと思っ

てるわけ！

男1 は？ それはあれさ、やーがさっき言ったみたいに攻めるっついて

ものもあるし、あとは、淫語とか使ったり、いろんな技とか、

女1 は？ あんたそれ本気で言っついてるわけ！ よくそれでさっき私に

説教できたよね！

男1 なにがよ！

女1 あんたは痴女の本質をわかってない！

男1 なんて怒ってる。

女1 は？ 怒るでしょ！ いい？ 女にもね、欲望っつてのがあるの！

わかる？ 痴女っつてのは、責められたっつていう男のためにやってる

んじゃないの！ 責められて感じてる男の人を見て、それを見て私は、

私はっつていうか痴女は興奮するわけ！ わかる？ この違い！

間

女1

あんなに痴女を相手にするなんてね、百年早いよ！ 痴女の「痴」

の字も知らないくせに！ いい？ 痴女はね、男のものじゃないの！

わかる？ 女のものなの！ あんたみたいな下品な男の性欲処理の

ためだけに痴女はあるんじゃないんだからね！ わかってるの？

男1 ……はい。

女1 そういうようなことをまた言っつたりやっつたりしたら、もう本当に、

今度はもうヤバイよ！ 本当にもう、殴る蹴るの暴行だからね！ わ

かった？

男1 ……はい。

間

男2

(の声) はいカット！

男1、女1、姿勢を楽にする。息を吐いたりしている。

男2が登場。

男2 いやー、最高！

女1 あ、本当ですか？

男2 いやー、素晴らしいね！

女1 ありがとうございます。

男1 俺もちょっとあれでした、なんか怒られながら、こう、なんっていうんだろう……なんか「うわああ」って

男2 あー、でもわかる！ なんかね、怒られるのが嬉しいじゃないけど。

女1 怒られるの嬉しいんですか？

男1 嬉しいっていうか……うん、嬉しい？

男2 一応なんか、あるんだよね、そういう女の人に怒られたい願望みたいな。

女1 へえー。え、でも、怒られて嬉しいんですか？ 俺男なのに？

男2 なんだろう。喋り方かな？ なんか途中から、本当に痴女に誇り持つてる女の子にしか見えなかったよ？

女1 え、本当ですか？

男2 本当本当！ 絶対みんな、女の子だと思って見てたよ。（客席を振り返り）ねえ？

間

照明C・O（了）